

「四国八十八箇所霊場と遍路道」に関する 四国4県緊急アピール

「四国八十八箇所霊場と遍路道」は、四国が誇るべき貴重な財産であるとともに、地域の人々が一体となって「お接待」という、すべての人を温かく受け入れる文化を育んできたものであり、「生きた文化資産」として将来にわたり確実に保存・伝承していくことは、我々の使命である。

また、今年、空海が四国霊場を開創したと伝えられる西暦815年から数えて1200年という大きな節目の年である。

このような中、この度、四国遍路の巡礼者が利用する数多くの休憩所等で、外国人に対する差別的な内容の貼り紙等が発見されるという事案が発生したことは非常に残念であり、決して容認できるものではない。

もとより、外国人に対する偏見や差別意識を解消し、外国人の持つ文化や多様性を受け入れ、国際的視野に立って一人ひとりの人権が尊重される社会を形成していかなければならない。

四国4県は、産学官民が連携して、平成28年度の「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産暫定一覧表記載に向け、より一層、資産の保護措置などの取り組みを進めていくとともに、このような外国人に対する差別的な行為が二度と発生しないよう、すべての人を温かく受け入れてきた本来の四国遍路の素晴らしさを幅広く周知するなど、一体となって取り組む。

ここに、四国遍路は、国内だけでなく世界の方々に対しても、また、いかなる文化を持つの方々に対しても、開かれていることを宣言する。

平成26年6月3日

四 国 知 事 会

常任世話人	高知県知事	尾崎	正直
	徳島県知事	飯泉	嘉門
	香川県知事	浜田	恵造
	愛媛県知事	中村	時広